

## 学校教育学専攻在籍院生研究活動状況一覽

2010年1月1日から2010年12月31日までの間に発表されたもので、本人より申告されたもののみを記載した。(※は国外で発表・報告されたもの)

### 《教育内容方法学分野》

野澤有希 (カリキュラム)

〈論文〉

- ・「授業評価を起点としたカリキュラム改善に関する実践研究—A兼教育研修センターの共同研究の成果を手がかりとして—」(田中統治との共著), 『学校教育学研究紀要』(筑波大学人間総合科学研究科学校教育学専攻) 第3号, 2010年3月, 1—18頁.

花岡隆行 (カリキュラム)

〈学会発表〉

- ・「モンテッソーリ教育における教師用指導書にみる教具の系統性」, 日本カリキュラム学会, 佐賀大学, 2010年7月4日

緩利真奈美 (カリキュラム)

〈論文〉

- ・「カリキュラムデザインにおける教師の実践的知識に関する事例研究—善元幸夫氏による単元デザインの場合—」, 『カリキュラム研究』(日本カリキュラム学会) 第19号 2010年3月, 43—57頁

落合一浩 (教育方法学)

〈研究・調査報告書〉

- ・「異校種派遣研修における教員の意識とその変容—研修対象者へのアンケートを中心に—」, 研究代表者: 樋口直弘, 『品川区教育改革の評価 第四年次報

告書 小学校中学校一貫教育の効果検証』(品川区教育委員会), 刊行年月: 2010年3月, 総ページ数126ページ, 掲載ページ pp. 27-pp. 35

- ・「第一部 第三章 第三節 市民性教育に関する教科書の単元構成の比較—イギリスのシティズンシップ教育と日本の市民科について—」, 研究代表者: 下田好行・科学研究費補助金基盤研究(B)課題番号19330208, 『「キーコンピテンシー」に基づく学習指導法のモデル開発に関する研究—思考力・判断力・表現力の育成と「言語活動の充実」を図る学習のあり方—』(国立教育政策研究所), 刊行年月: 2010年3月, 総ページ数671ページ, 掲載ページpp. 55-pp. 60

#### 〈学会発表〉

- ・「中学校籍教員の小学生に対する授業の特質—小中一貫校における事例分析—」(樋口直弘との共同研究発表), 日本教育方法学会, 国士舘大学(世田谷キャンパス), 2010年10月10日

原口友輝 (道徳教育学)

#### 〈研究・調査報告書〉

- ・『「移行期の正義」論における教育の位置—『歴史と私たち自身に向き合う (Facing History and Ourselves)』の事例を中心に—」, 研究ノート, 『教育学研究』, 第77巻第1号, (日本教育学会), 2010年3月, 総頁数10頁, 15-24頁。

#### 〈学会発表〉

- ・「参加型の人権教育に関する—考察—『歴史と私たち自身に向き合う (Facing History and Ourselves)』の事例の検討を通して—」, 日本教育学会第69回大会, 広島大学, 2010年8月21日

### 《教科教育学分野》

内山知一 (社会科教育学)

#### 〈論文〉

- ・「米国『国際教育』の多様性に関する社会運動論的考察—『国際教育』推進NPO団体の集合行為フレームに着目して—」, 『アメリカ教育学会紀要』(アメ

リカ教育学会) No. 21, 2010年9月, pp. 18-30

〈研究・調査報告書〉

- ・「高千穂と世界をつなげる地域学習の授業構想—『グローカリゼーション』の視点に着目して—」, 筑波大学博士課程「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告, 『地域と教育—宮崎県西臼杵郡高千穂町—』, 2010年11月, pp. 1-11

〈学会発表〉

- ・「米国『国際教育』の多様性に関する社会運動論的考察」, アメリカ教育学会第22回大会, 芝浦工業大学, 2010年9月25日
- ・「米国『国際教育』の多様性に関する考察—NPOに焦点を当てて—」, 日本社会科教育学会第60回全国研究大会, 筑波大学, 2010年11月14日

大高 皇 (社会科教育学)

〈著書〉

- ・「ドイツにおけるモビリティ教育」, 谷川彰英 (監修) 江口勇治・井田仁康・伊藤純郎・唐木清志 (編著), 『市民教育への改革』, 2010年5月, 東京書籍, 238ページ, pp48-56

〈論文〉

- ・「ドイツにおける地理教育カリキュラムと教育スタンダードの展開—バーデン=ヴュルテンベルク州教育スタンダードを事例として—」, 『社会科教育研究』(日本社会科教育学会) No. 110, 2010年9月, pp. 130-142

〈研究・調査報告書〉

- ・「高千穂鉄道の教材化の取り組み」, 井田仁康, 『地域と教育 第9号』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学学校教育学専攻「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告), 2010年12月, 88ページ, pp. 24-40

〈学会発表〉

- ・「ドイツ地理教授における範例的教授学習の展開」, 日本地理教育学会, 山梨大学, 2010年8月21日
- ・「ドイツ・ニーダーザクセン州におけるモビリティ教育」, 日本社会科教育学会, 筑波大学, 2010年11月13日

鎌田公寿（社会科教育学）

〈学会発表〉

- ・「グローバル・シティズンシップに関する一考察—ケアの視点から—」, 日本社会科教育学会, 筑波大学, 2010年11月13日

篠崎正典（社会科教育学）

〈論文〉

- ・「石山脩平の社会科論—「弁証的教育学」との関連に着目して—」, 『関東教育学会紀要』(関東教育学会) 第37号, 2010年10月, 13-26頁.

〈学会発表〉

- ・「1946, 47年度指定文部省教科書局実験学校における社会科実践の違いとその背景—社会科単元指導計画の比較を中心に—」, 日本社会科教育学会第60回大会, 筑波大学, 2010年11月13日.

坪田益美（社会科教育学）

〈著書〉

- ・『「深い多様性」の尊重を促進するシティズンシップ教育』谷川彰英監修『市民教育への改革』東京書籍, 2010年5月, 214-221頁。

〈研究・調査報告書〉

- ・「学校教育ならびに社会科における地域の伝統文化理解の重要性—高千穂夜神楽を事例として—」筑波大学人間総合科学研究科学校教育学専攻社会科教育学研究室編『地域と教育』第9号, 2010年11月。

〈学会発表〉

- ※“Citizenship Education for Social Cohesion in Canada : Focusing on Respecting ‘Deep Diversity’” The 5th citizED International Conference, S’t. Andrews University, Scotland, 2th-4th July. 2010.
- ・「カナダ・アルバータ州における『社会的結束』を目指す社会科カリキュラムの構造」, 全国社会科教育学会, 同志社大学, 2010年10月30日。

藤井大亮（社会科教育学）

〈著書〉

- ・「歴史学習におけるオーラル・ヒストリーの可能性」谷川彰英監修，江口勇治・井田仁康・伊藤純郎・唐木清志編著『市民教育への改革』東京書籍，pp. 160-167.

〈論文〉

- ・「オーラル・ヒストリーを導入した米国の歴史授業実践の分析—Foxfire アプローチの視点から—」中等社会科教育学会『中等社会科教育研究』第28号，2009年12月31日，pp. 1-15.
- ・「米国ジョージア州の“Foxfire”誌におけるオーラル・ヒストリーの変貌」日本オーラル・ヒストリー学会『日本オーラル・ヒストリー研究』第6号，2010年9月12日，pp. 145-167.
- ・「米国の歴史学習にみるコミュニティヒストリーへの取り組み」『日本社会科教育学会全国大会発表論文』第6号，2010年11月13日，pp. 36-37. 214-215.

〈研究・調査報告書〉

- ・「小・中・高等学校における地域素材の学習傾向—宮崎県の高千穂及び五ヶ瀬地域を事例として—」『教育と地域』，筑波大学人間総合科学研究科学学校教育専攻「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告，第9号，2010年12月31日，pp. 55-76.

〈学会発表〉

- ・「米国の歴史学習にみるコミュニティヒストリーへの取り組み」日本社会科教育学会，筑波大学，2010年11月14日.

梁 炳逸（社会科教育学）

〈研究・調査報告書〉

- ・「日常的な景観を活用した地理授業の提案—宮崎県高千穂町を事例として—」，筑波大学人間総合科学研究科学学校教育専攻「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告，『地域と教育』，第9号，2010年12月，pp. 12-23.

〈学会発表〉

- ・「地理的思考における専門家と初心者の比較研究—『意味ネットワークモデル』と『景観の意味づけ』を手がかりとして—」，日本地理教育学会第60回

大会（山梨大学），2010年8月21日。

- ・「地理的思考の理論的な定義と検証—地理学者の地理的思考を対象として—」，日本社会科教育学会第60回全国研究大会（筑波大学），2010年11月14日。

## 飯田和明（人文学科教育学）

### 〈論文〉

- ・「新しい学習指導要領と国語科における授業実践（2）～新しい学習指導要領を巡る言説と本校国語科の国語実践～」，飯田和明，六谷明美，岡田幸一，五味貴久子，『筑波大学附属中学校研究紀要』（筑波大学附属中学校）第62号，2010.3，1－32頁
- ・「授業を核に「言語生活」の向上を図る」，『内外教育』（時事通信社）第6013号，2010.8，4－6頁
- ・「漢字文化圏における漢文教材—原稿の学校教科書所収の『論語』教材を通して—」，古珮玲，李有珠，勘米良祐太，勝田光，劉晏君，飯田和明，『人文学科教育研究』（人文学科教育学会）第37号，2010.8，65－78頁

### 〈学会発表〉

- ・「小砂丘忠義の綴方教育，その実際と現代への経路～生活綴方教育生成期における教育の事実と変位～」，第48回人文学科教育学会大会，筑波大学附属中学校，2010.2.6
- ・「単元学習の実践事例の研究」，日本国語教育学会研究部平成21年度第2回公開研究会，池袋第一小学校，2010.2.27
- ・「生活綴方教育前史—「自己—他者論」からの検討」，筑波大学教育学会第9回大会，筑波大学附属小学校，2010.3.13
- ・「生活綴方教育前史としての『赤い鳥』」，日本読書学会第54回研究大会，全林野会館，2010.8.7
- ・「1930年代における小砂丘忠義の教育思想」，国語教育史学会第47回例会，東洋大学，2010.8.11
- ・「生活綴方教育における「自己—他者」の課題」，第69回日本教育学会，広島大学，2010.8.22
- ・「文学教材研究の方法（2）現代文を中心とした教材研究の方法」，第119回全国大学国語教育学会公開講座，鳴門教育大学，2010.10.30

李 有珠（人文科教育学）

〈論文〉

- ・「日本の小学校における韓国人児童の学習言語能力向上のための語彙研究—漢字語に焦点をあてて—」、『日本学報』（韓国日本学会），第85号，2010年11月，pp. 15-28.

〈学会発表〉

- ※「日本語を母語としない韓国人児童の学習言語能力向上のための語彙研究」，韓国日本学会 第80回学術大会，漢陽大学，2010年2月6日
- ・「韓国人日本語学習者の漢字学習に関する実態調査」，筑波大学日本語日本文学会 第34回大会，筑波大学，2010年9月25日
- ※「韓国の4年制大学における韓国人日本語学習者の漢字学習の実態—質問紙調査の結果から—」，韓国日語日文学会 冬季学術大会，建国大学，2010年12月18日

田中耕司（人文科教育学）

〈論文〉

- ・「児童生徒の読解力は低下しているのか—標準読書力診断検査の結果分析を通して—」『国語科教育』，全国大学国語教育学会，第67集，2010年3月，pp. 19-26.

〈学会発表〉

- ・「児童生徒の読みの能力の規定要因に関する研究—言語能力からの検討—」，第118回全国大学国語教育学会，東京学芸大学，2010年5月30日.
- ・田中耕司・納富涼子「教研式読書力診断検査A形式と教研式 Reading-Test との下位検査間の比較」，日本教育心理学会第52回総会，早稲田大学，2010年8月28日.
- ・田中耕司・斎藤佐和・四日市章「聴覚障害児の読み能力の経年的変化に関する研究」，日本特殊教育学会第48回大会，日本特殊教育学会，長崎大学，2010年9月19日.

劉 晏君 (人文学科教育学)

〈論文〉

- ・「〈資料〉漢字文化圏における漢文教材：現行の中学校国語教科書所収の『論語』教材を通して」, 『人文科教育研究』人文科教育学会(37), 2010-08-18, 65-78

〈学会発表〉

- ・「公学校用国語読本(1923)における『徳』に関する教材の研究」, 人文科教育学会, 筑波大学教育学系大会議室, 平成21年5月26日

大塚慎太郎 (数学教育学)

〈論文〉

- ・「数学的推論における命題解釈の問題—『4枚カード問題』の再評価—」, 『学校教育学研究紀要』(筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第3号, 2010年3月, pp. 57-74
- ・An Analysis of Factors in the Difficulties in Explanation of False Statements: Focusing on Learner's Interpretations of Proposition, "Proceedings of the 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education", Vol. 2, August, 2010, pp. 456-463
- ・An Assessment Framework for Students' Abilities/Competencies in Proving (Chino, K. et al.), "Proceedings of the 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education", Vol. 2, August, 2010, pp. 416-423
- ・「What-If-Not 方略を用いた問題設定に関する一考察—学習者による命題解釈の分析を通して—」, 『第43回数学教育論文発表会論文集』(日本数学教育学会), 2010年11月, pp. 525-530

〈学会発表〉

- ※"An Analysis of Learner's Interpretations of Proposition in Explaining False Statements", The 34th Conference of International Group for the Psychology of Mathematics Education, Belo Horizonte, Brazil, July 19, 2010
- ・"An Analysis of Factors in the Difficulties in Explanation of False Statements: Focusing on Learner's Interpretations of Proposition", The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education, Tokyo, Japan, August 21, 2010



- ・“An Assessment Framework for Students’ Abilities/Competencies in Proving” (Chino, K. et al.), The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education, Tokyo, Japan, August 21, 2010
- ・「命題が偽であることの説明における学習者による命題解釈の分析」, 日本科学教育学会第34回年会, 広島大学, 2010年9月11日
- ・「What-If-Not 方略を用いた問題設定に関する一考察—学習者による命題解釈の分析を通して—」, 日本数学教育学会第43回数学教育論文発表会, 宮崎大学, 2010年11月14日

#### 小泉友香 (数学教育学)

##### 〈著書〉

- ・「国際プロジェクト Learner’s Perspective Study のデザイン」, 清水美憲編著『授業を科学する—数学の授業への新しいアプローチ—』, 2010年5月, 学文社, 第1版, 215ページ, pp. 202–211.

##### 〈論文〉

- ・「中学校数学科における「連立方程式」の特徴に関する一考察—日独両国の比較を手がかりに—」, 『教材学研究』(日本教材学会)第21巻, 2010年3月, pp. 41–48.
- ・「数学教育における授業の国際比較研究の展開と課題」, 『学校教育学研究紀要』(筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻)第3巻, 2010年3月, pp. 75–95.

##### 〈学会発表〉

- ※A comparison of elicitation-response sequences in the mathematics classrooms in Germany and Japan, The 34rd Conference for the Psychology of Mathematics Education, Belo Horizonte, Brazil, 2010年7月18–23日.
- ・An investigation of teacher’s questioning in the mathematics classrooms in Germany and Japan, The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education, Tokyo, Japan, 2010年18–22日.
- ・「授業者と学習者の観点からみた数学科授業の特徴—授業後インタビューを手がかりに—」, 第22回研究発表大会 (日本教材学会), 帝京短期大学, 2010年10月16日.

- ・「日独両国の数学科授業における教師の教授行動の分析—生徒の学習行動との関連に焦点を当てて—」, 第43回数学教育論文発表会論文集 (日本数学教育学会), 宮崎大学, 2010年11月13-14日.

小松孝太郎 (数学教育学)

〈論文〉

- ※“Counter-examples for refinement of conjectures and proofs in primary school mathematics”, The Journal of Mathematical Behavior, Vol. 29, No. 1, pp. 1-10, March, 2010.
- ・「数学的探究における action proof の活用の促進～事例研究を通して～」, 『日本数学教育学会誌 数学教育学論究』, 第93号, pp. 3-29, 2010年4月.

〈学会発表〉

- ・“An assessment framework for students’ abilities/competencies in proving”(with Chino, K., et al.), The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education, National Olympics Memorial Youth Center, August, 2010.

辻山洋介 (数学教育学)

〈学会発表〉

- ・「Argumentative aspects of geometrical proofs: an approach to the notion of proving in school mathematics」, The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education (EARCOME 5), Tokyo: National Olympics Memorial Youth Center, 2010年8月21日。(Proceedings の pp. 316-323に掲載)
- ・[An assessment framework for students’ abilities/competencies in proving], The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education (EARCOME 5), Tokyo: National Olympics Memorial Youth Center, 2010年8月21日。(Proceedings の pp. 416-423に掲載。K. Chino, T. Fujita, K. Komatsu, T. Makino, T. Miyakawa, M. Miyazaki, N. Mizutani, H. Nakagawa, S. Otsuka との共著。)
- ・「既習の証明活動の活用による証明の構想のあり方に関する一考察：argumentation の“裏づけ”に着目して」, 第34年会会 (日本科学教育学会), 広島大学, 2010年9月11日。(論文集pp. 83-84に掲載)
- ・「argumentation を視点とした学校数学における証明の構想の方法」, 第43回

数学教育論文発表会（日本数学教育学会），宮崎大学，2010年11月14日。（論文  
文集第2巻 pp. 729-734に掲載）

藤井信一郎（数学教育学）

〈学会発表〉

- ・「空間的推論の記述に関する研究」，日本数学教育学会，宮崎大学，2010年11  
月14日

増田有紀（数学教育学）

〈論文〉

- ・「小学校算数科の角の学習に関するインタビュー調査—児童の平角を超える角  
度の捉え方に着目して—」，『教材学研究』（日本教材学会），第21巻，2010年  
3月，pp. 31-40.

〈学会発表〉

- ・「角に関する学習上の困難点の特定とその解消の方法—学校数学における角の  
学習指導の再構成に向けて—」，日本学校数学教育学会第2回研究会，筑波大  
学，2010年6月29日.

※“Pupils’ difficulties in understanding reflex angles.” In F. M. Pinto, & F. T. Kawasaki.(Eds.), *Proceedings of the 34th Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education*, Vol. 3, Belo Horizonte, Brazil: PME, 2010年7月20日, pp. 281-288.

※“Students’ Difficulties in Representing and Interpreting Radian for Angle Measure.” In Y. Shimizu, Y. Sekiguchi, & K. Hino. (Eds.), *Proceedings of the 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education*, Vol. 2, Tokyo, Japan, 2010年8月19日, pp. 148-155.

- ・「角の大きさの比較における図形の構成要素の影響—小学生を対象としたイン  
タビュー調査—」，『日本科学教育学会第34回年会論文集』（日本科学教育学会），  
広島大学，2010年9月12日，pp. 341-342.
- ・「角の大きさの比較に関する教材開発の視点」，『日本教材学会第22回研究発  
表大会研究発表論文集』（日本教材学会），帝京短期大学，2010年10月16日，  
pp. 66-67.

- ・「角の大きさの測定に関する学習指導の改善の視点—任意単位による測定に焦点を当てて—」, 『日本数学教育学会第43回数学教育論文発表会論文集』(日本数学教育学会), 宮崎大学, 2010年11月13日, pp. 181-186.

渡会陽平 (数学教育学)

〈学会発表〉

- ※“Identifying the Proportional Relation in Situations of Multiplication and Division of Whole Numbers”, Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME34), Belo Horizont, Brazil, 2010年7月20日.
- ・“Reconsideration of Teaching the Meaning of Multiplication in Elementary School Mathematics in Japan”, The 5th East Asia Regional Conference on Mathematics Education (EARCOME 5), Tokyo, Japan, 2010年8月20日.
- ・「小学校算数科における乗法の意味の拡張についての分析—G. Vergnaud の Conceptual Fields 理論を枠組みとして—」, 第43回数学教育論文発表会(日本数学教育学会), 宮崎大学, 2010年11月13日.

泉 直志 (理科教育学)

〈研究・調査報告書〉

- ・「環境的行動の形成要因に関する一考察— T. Tanner の所論に着目して—」, 『ドイツ・アメリカ等における持続可能性のための環境教育の新展開と成果の国際比較研究』, 筑波大学人間総合科学研究科, 2010, 174頁, 75-86頁.

〈学会発表〉

- ・「理科教育におけるアーギュメント指導のための教授ストラテジー —IDEAS 教材に焦点をあてて—」, 日本理科教育学科, 山梨大学, 2010年8月7日.

山本容子 (理科教育学)

〈論文〉

- ・「日本の環境教育におけるディープ・エコロジー思想の導入視点の実践的検討—高校生物における自然との一体化体験の実践を通して—」, 日本理科教育学会誌『理科教育学研究』, Vol. 51, No. 2, 2010年11月, pp. 109-124.

〈研究・調査報告書〉

- ・「高校生の環境倫理意識・態度の実態」, 平成19-21年度科学研究費補助金基盤研究B (研究代表者: 大高泉 (筑波大学教授)) 研究成果報告書, 『ドイツ・アメリカ等における持続可能性のための環境教育の新展開と成果の国際比較研究』, 2010年3月, 総ページ数174, pp. 103-112。

〈学会発表〉

- ・「高校生の環境倫理意識・態度の実態—ディープ・エコロジー思想を中心として—」, 日本理科教育学会第60回全国大会, 山梨大学, 2010年8月8日。

片岡千恵 (学校保健学)

〈論文〉

- ・「Relative Influence of Self-Esteem and Norm-Consciousness on Prevalence of Youth Risk Behavior among Japanese High School Students」, 『School Health』, (日本学校保健学会), 第6号, 2010年, 6-11頁

〈学会発表〉

- ・「神奈川県における児童生徒の喫煙, 飲酒, 薬物乱用の実態—TADASKY 2001年と2009年との比較—」, 第57回日本学校保健学会, 女子栄養大学, 2010年11月27日